平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	7015	事務事業名	広聴事業	所管課	経営企画課

総合計画体系（後期）			
	部	1	市民活動の推進
	章	1	協働のための基盤づくり
	節（施策）	2	市民との情報の共有

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

市民と行政が情報を共有し、市民がまちづくりに参加しています

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

市民の意見をまちづくりに反映するために市民に対して市民意識調査を実施する

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		726	634	801
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	726	634	801
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

まちづくりに反映させるために統計的に必要なサンプル数を確実に確保させ、統計的手法に基づいた分析を行う

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
有効回答数	市民アンケート回答者	人	776	860	752	800	839	800	800	800	800

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	・市民アンケートの回収率を前年度以上にする。・インターネットなどを活用したモニター制度について、本市に適した方式を検討する。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく ・市民アンケートの回収率がH21年度は37.6%だったのに対し、平成22年度は41.2%に上昇した。・市民モニター制度は業務の都合等により検討まで及ばず、行政経営改革プランに則って、23年度から検討を行うようにした。

【一次評価(担当課から)】

必要性の評価		その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 1	市民のニーズを市政に反映するというニーズは向上している
民間、国、県、市が行う他の事務事業と 事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	評価 1	市単独による業務である
有効性の評価		**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる	評価 3	市民意識調査の結果を市政に十分反映しきれていない
市民参画協働の推進や、 社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　2　対応の必要がない　3　対応できていない	評価 1	一部福祉施設に作業を委託している
効率性の評価		**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 1	ゆうメールを活用することにより郵送料の削減につながったため
公平性の評価		**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	評価 1	住民基本台帳より年齢別、地区別に偏りがないように発送し、回答者にも大きな偏りがない

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	維持	市民の意見や考え方を市政に十分反映しきれていない。また、市民意識調査そのものが定点観測的な市民意見の聴取方法ではないことから、現在の定量調査と合わせて定性的な調査についても検討する。	市民意識調査を市政に反映しやすくするように報告書のあり方を再考する。市民モニター制度の検討を行う。
予算	維持		

【平成24年度に向けての二次評価(最終評価)】

理由及び検討事項		
内容	要検討	市民意識調査について、より効果的に市政に反映する方法を検討する必要がある。
予算	維持	